

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第5区分
【発行日】平成17年10月6日(2005.10.6)

【公開番号】特開2004-9797(P2004-9797A)
【公開日】平成16年1月15日(2004.1.15)
【年通号数】公開・登録公報2004-002
【出願番号】特願2002-163175(P2002-163175)
【国際特許分類第7版】
B 6 2 D 1/18
【F I】
B 6 2 D 1/18

【手続補正書】
【提出日】平成17年5月25日(2005.5.25)
【手続補正1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項1】

車体に取り付けた車体側ブラケットに、ステアリングコラムに取り付けたコラム側ブラケットを揺動自在又は摺動自在に設け、

車体側ブラケットに形成したチルト調整用長孔又は丸孔と、コラム側ブラケットに形成したテレスコピック調整用長孔又は丸孔とに、締付ボルトを通挿し、

締付ボルトを締付け、両ブラケットを圧接してチルト又はテレスコピック締付する一方、締付ボルトの締付を解除し、両ブラケットの圧接を解除してチルト又はテレスコピック調整可能にし、

チルト調整用長孔又は丸孔と、テレスコピック調整用長孔又は丸孔とは、夫々、締付ボルトに対して、若干の隙間を有しているチルト式又はテレスコピック式の車両用ステアリングコラム装置において、

前記締付ボルトの外周面に、チルト又はテレスコピック調整時、前記締付ボルトが前記隙間分だけガタ付くことを防止する環状又は筒状の弾性部材が外嵌してあることを特徴とする車両用ステアリングコラム装置。

【請求項2】
前記環状又は筒状の弾性部材は、合成樹脂から形成してあることを特徴とする請求項1に記載の車両用ステアリングコラム装置。

【請求項3】

前記コラム側ブラケットは、ステアリングコラムに対向する位置に、底板部を有し、

前記環状又は筒状の弾性部材は、前記底板部に当接しながら、前記締付ボルトを前記底板部から前記ステアリングコラムに向けて弾性的に付勢して、前記締付ボルトを少なくとも前記隙間分だけ持ち上げるように作用する環状又は筒状の弾性支持部を有していることを特徴とする請求項2に記載の車両用ステアリングコラム装置。

【請求項4】

車体に取り付けた車体側ブラケットに、ステアリングコラムに取り付けたコラム側ブラケットを揺動自在又は摺動自在に設け、

車体側ブラケットに形成した長孔又は丸孔と、コラム側ブラケットに形成した長孔又は丸孔とに、締付ボルトを通挿し、

締付ボルトを締付けることにより両ブラケットを圧接してチルト又はテレスコピック締

付する一方、締付ボルトの締付を解除することにより両ブラケットの圧接を解除してチルト又はテレスコピック調整可能にしているチルト式又はテレスコピック式の車両ステアリングコラム装置において、

前記締付ボルトの外周面に、締付ボルトをコラム側ブラケットに形成した長孔または丸孔に押付ける弾性部材が外嵌してあることを特徴とする車両ステアリングコラム装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

さらに、請求項 3 に係る車両用ステアリングコラム装置は、前記コラム側ブラケットは、ステアリングコラムに対向する位置に、底板部を有し、

前記環状又は筒状の弾性部材は、前記底板部に当接しながら、前記締付ボルトを前記底板部から前記ステアリングコラムに向けて弾性的に付勢して、前記締付ボルトを少なくとも前記隙間分だけ持ち上げるように作用する環状又は筒状の弾性支持部を有していることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

また、車体側アップブラケット 4 のフランジ部 4 b, 4 b には、略 U 字状のコーティングプレート 10 と、二次衝突時の衝撃エネルギーを吸収するための衝撃吸収プレート 11 とがボルト（図示略）により車体に固定してある。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

各環状の弾性部材 40 は、合成ゴムから形成してあり、底板部 5 c に当接しながら、締付ボルト 8 を該底板部 5 c からステアリングコラム 1 に向けて弾性的に付勢して、締付ボルト 8 を少なくとも隙間（ Δt 、図 4）分だけ持ち上げるように作用する環状の弾性支持部 41, 41 を有している。なお、弾性部材 40 は、合成樹脂で形成しても良い。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0039

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0039】

筒状の弾性部材 50 は、その両端部近傍に、底板部 5 c に当接しながら、締付ボルト 8 を該底板部 5 c からステアリングコラム 1 に向けて弾性的に付勢して、締付ボルト 8 を少なくとも隙間（ Δt 、図 4）分だけ持ち上げるように作用する複数の弾性支持部 51, 51 を有している。